

土木工事「数量集計表」(平成24年度 施工パッケージ型積算方式版)

数量集計表様式説明書 【施工パッケージ型積算方式版】

平成24年10月版

目 次

1. 基本事項	1
2. 数量集計表の構成内容	2
3. 数量集計表のについて	3
3. 1 工事工種体系との対応	3
3. 2 入力規則	4
3. 2 実数入力条件	5
3. 4 別途計上数量	6

1. 基本事項

- (1) 設計数量の集計を行う際には、本数量集計表の様式にならって数量集計表を作成してください。
- (2) 体系情報は、工事工種体系に準じてレベル1(工事区分)からレベル5(規格)の情報を記入ください。
- (3) 本数量集計表は、数量集計表の統一様式であって数量計算書を規定するものではありません。

注)本数量集計表は施工パッケージ型積算方式版です。

施工パッケージ型積算方式はレベル6(積算要素)毎に施工パッケージの部分と積上歩掛の部分があります。

積上方式の数量集計表を基本に、公表している平成24年度(10月版)工事工種体系ツリーと、

平成24年度(4月版)、(10月版)工事工種体系ツリーの対照表を参照のうえ、施工パッケージに移行したレベル6は

本数量集計表にて作成していただき、組み合わせてご利用ください。

2. 数量集計表の構成内容

- (1) 数量集計表は、施工パッケージ毎に1つのシートで構成されています。
- (2) 「一覧」シートには、施工パッケージを施工パッケージ型積算基準の編章項順に示しています。
- (3) 本数量集計表は、数量集計表の統一様式であって数量計算書を規定するものではありません。

数量集計表一覧						
No.	施工パッケージ名称	参考: 施工パッケージ型積算基準			備考	
		編	章	項		
01	掘削	I	1	②	土工(施工パッケージ)	
02	土砂等運搬	I	1	②	土工(施工パッケージ)	
03	整地	I	1	②	土工(施工パッケージ)	
04	路体(築堤)盛土	I	1	②	土工(施工パッケージ)	
05	路床盛土	I	1	②	土工(施工パッケージ)	
06	押土(ルーズ)	I	1	②	土工(施工パッケージ)	
07	積込(ルーズ)	I	1	②	土工(施工パッケージ)	
08	土材料	I	1	②	土工(施工パッケージ)	
09	残土等処分	I	1	②	土工(施工パッケージ)	
10	安定処理	I	1	③	安定処理工	
11	法面整形	I	2	①	法面整形工	
12	市松芝	I	2	②	芝付工	
13	吹付法面取壊し	I	2	③	吹付法面とりこわし工	
14	人工張芝	I	2	④	人工張芝工	
15	間知ブロック張	I	2	⑤	コンクリートブロック積(張)工	
16	天端コンクリート	I	2	⑤	コンクリートブロック積(張)工	
17	小型擁壁(A)	I	2	⑥	場所打擁壁工	
18	重力式擁壁	I	2	⑥	場所打擁壁工	
19	プレキャスト擁壁設置	I	2	⑦	プレキャスト擁壁工	
20	サンドマット	I	2	⑧	軟弱地盤処理工(サンドマット工)	
21	安定シート・ネット	I	2	⑧	軟弱地盤処理工(サンドマット工)	
22	粉体噴射攪拌	I	2	⑨	軟弱地盤処理工(粉体噴射攪拌工)	
23	石積取壊し(人力)	I	2	⑩	構造物とりこわし工	
24	コンクリートはつり	I	2	⑩	構造物とりこわし工	
25	吸出し防止材設置	I	2	⑪	吸出し防止材設置工	
26	じゃかご	I	2	⑫	かご工	
27	ぶらんかご	I	2	⑫	かご工	
28	函渠	I	2	⑬	函渠工	
29	敷運搬	I	2	⑭	敷運搬	

施工パッケージの一覧シート

施工パッケージ毎の数量集計表のシート

3. 数量集計表について

3.1 工事工種体系との対応

数量集計表における階層は、工事工種体系の階層構成に準拠していますが、その工事工種体系では、事業区分を除いて、工事の内容を下記6つの階層(レベル)で表示することとしています。

・レベル1(工事区分) ・レベル2(工種) ・レベル3(種別) ・レベル4(細別) ・レベル5(規格) ・レベル6(積算要素)

このうち、レベル4(細別)は、工事を構成する基本的な単位目的物もしくは単位仮設物であって、単位とともに契約数量を示すレベルとして位置づけられています。

また、レベル5(規格)は、レベル4を構成する材料等の材質、規格ならびに契約上明示する条件等を示すレベルとして位置づけられ、契約図書である数量総括表では、原則としてレベル4と同行に記述されます。

さらに、レベル6(積算要素)は、レベル4(+レベル5)の価格算定上の構成要素であって、費用構成としての積算項目と積算上の最小構成単位としての項目から構成されています。「施工パッケージ」はこのレベル6(積算要素)に該当します。

数量集計表では、レベル1～レベル5について任意に入力できるようにしています。工事工種体系ツリーを確認した上で「施工パッケージ」が該当するレベル1～レベル5の情報を入力してください。

また、数量集計表では、レベル6に対応して数量算出要領に記載されている内容を基に、積算時に必要となる数量算出項目を「施工パッケージ」の積算条件区分毎に入力できるようにしています。該当する積算条件区分毎に算出した数量を入力してください。

3.2 入力規則

数量集計表では、水色ハッチング部に数量等を入力してください。
 体系情報は、工事工種体系ツリーに基づいて記入してください。
 数量は、該当する積算条件区分毎に算出した数量を入力してください。

地区や工区毎に数量を入力

レベル1(工事区分)	レベル2(工種)	レベル3(種別)	レベル4(細別)	レベル5(規格)	レベル6(積算要素)	積算用単位	数量計算用単位	数量区分					合計	A地区	B地区				備考		
					—	—	—						0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
					整地	m3	m3	作業区分	数均し作業内容	—						0.0					
								残土受け入れ地での処理	—	—						0.0					
								数均し(ルーズ)	標準	—						0.0					
									標準以外	—						0.0					
									狭小幅員(幅2.5m以上4m未満)	—						0.0					
									トラフカビリティが確保できない場合	—						0.0					

工事工種体系ツリーに基づいて記入

該当する積算条件区分毎に算出した数量を入力

3.2 実数入力条件

積算条件に実数入力条件がある場合は、数値を積算条件区分に入力してください。
 同一条件で実数入力値が異なる場合は、行を追加して実数入力毎に数量を計上してください。

レベル1(工事区分)	レベル2(工種)	レベル3(種別)	レベル4(細別)	レベル5(規格)	レベル6(積算要素)	積算単位	数量計算単位	数量区分					合計	A地区	B地区				備考
					安定処理	m2	m2	使用機種	施工箇所	混合深さ	固化剤100㎡当り 使用量(実数入力) [単位:kg/100㎡]	混合回数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
								スタビライザ	—	0.6m以下		回	0.0						
										0.6mを超え1m以下		回	0.0						
								バックホウ	路床	1m以下		—	0.0						
									構造物基礎	1m以下		—	0.0						
										1mを超え2m以下		—	0.0						

固化材使用量を数値入力

3.4 別途計上数量

「施工パッケージ」の適用条件から外れて、別途数量を計上するものについては、数量集計表の備考欄より右側に別な数量表を設けています。別途計上する数量については、単位当たりの数量に置き換える必要がある場合もあるため積算条件区分毎に数量を入力してください。

数量区分				合計	A地区	B地区				備考
				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
コンクリート規格	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類							
21-8-25(20)(普通)	無し	無し	一般養生・特殊養生(緑炭)	0.0						
			特殊養生(シフトヒーダ)	0.0						
		有り	一般養生・特殊養生(緑炭)	0.0						
			特殊養生(シフトヒーダ)	0.0						
	有り	無し	一般養生・特殊養生(緑炭)	0.0						
			特殊養生(シフトヒーダ)	0.0						
		有り	一般養生・特殊養生(緑炭)	0.0						
			特殊養生(シフトヒーダ)	0.0						

項目	規格	単位	A地区		B地区	
基礎砕石(基礎材厚さ20cm超え)	[砕石種類、敷厚]	m2				
			全体	1m3当り	全体	1m3当り
				#DIV/0!		#DIV/0!
				#DIV/0!		#DIV/0!
				#DIV/0!		#DIV/0!
				#DIV/0!		#DIV/0!
				#DIV/0!		#DIV/0!
				#DIV/0!		#DIV/0!
				#DIV/0!		#DIV/0!

別途計上が必要な数量の数量表